

(千円)								
No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連 携推進事業	環境	地球温暖化対策 (COOL CHOICE) 推進事業	【事業の目的】 2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、気候変動の緩和策として省エネの推進と再エネの普及を行うとともに、適応策として市民へ啓発する。  【事業の内容】 地球温暖化の防止と暮らしやすさを両立する賢い選択「COOL CHOICE」を実践する者に対して、その実際に要した経費の一部を補助する。	2,917	1,458	補助実績額等 ①薪ストーブ設置補助（100千円：1件） 補助率1/2、補助金上限100千円 ②住宅窓断熱改修補助（417千円：9件） 補助率1/10、補助金上限50千円 ③次世代自動車導入補助（2,100千円：21件） 定額100千円 ④家庭用燃料電池システム設置補助 （300千円：6件） 定額50千円	設備の導入の経済的なハードルを引き下げることで省エネの推進と再エネの普及に寄与した。引き続き広く温暖化対策の啓発を行うとともに、COOL CHOICE実践補助金の制度周知に努め、事業者とも連携した取組を進めることで2050年ゼロカーボンシティの実現を目指す。
2	地域づくり連 携推進事業	子育て支援	保健保育体制充実事業	【事業の目的】 発達支援保育対象児童の低年齢化や増加（特に多動傾向の児童）、医療的ケア児の入所が増加するなど、安全安心な集団生活の維持および児童の個々の能力を引き出す保育をするため、保育所配置基準外である看護師の配置を推進する。  【事業の内容】 看護師配置は、国の運営基準以上の保育サービスであり、保育所等が実費費用として保護者へ請求できるところであるが、保護者への追加の経済的負担を求めず、民間保育所等の看護師配置に対して補助を行う。	25,987	12,993	公立保育所への看護師配置を行うとともに、民間保育所等の看護師配置に対して補助を行った。  補助実績額等 ①民間保育所等補助：13,490千円 ②公立保育所人件費：12,497千円	公立保育所だけでなく民間保育所等でも看護師を配置することで、保護者の経済的負担なしで、これまで以上に安全に、そして保護者も安心できる保育環境の構築に寄与した。
3	地域づくり連 携推進事業	万博	大阪・関西万博関連事業	【事業の目的】 令和7年に開催される「2025大阪・関西万博」の機運醸成を図る。  【事業の内容】 世界の文化や価値観に精通した講師を招き、市内の小中学生を対象に事前学習を実施。また、姉妹都市アメリカ アーリントンとの交流事業を実施（訪米及び来日受入）。	9,752	4,876	①市内小中学生の事前学習にかかる講師謝礼及び消耗品等の購入（2,960千円） ②万博をイメージしたＪＲ長岡京駅前ライトアップを実施（786千円） ③姉妹都市交流（訪米及び来日）の実施（6,006千円）	小中学生においては、事前学習を通じて世界の文化や価値観に触れることができ、令和7年度の万博訪問に向けた充実した活動ができた。また、駅前のライトアップや姉妹都市交流は市全体の万博機運醸成に寄与した。
4	地域づくり連 携推進事業	防災	自主防災体制整備事業	【事業の目的】 多発する集中豪雨や不測の災害などに対応するため、防災リーダー等の育成など自主防災会等の組織化および「自助・共助」による防災意識の形成を図り「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進する。  【事業の内容】 「地域づくり」「人づくり」「拠点づくり」に関連する取組等に補助・支出し、自主防災会等の組織化および「自助・共助」による防災意識の形成を図る。	29,402	14,000	①「多様な市民が考える場」での意見交流を実施（447千円） ②出前講座等による防災知識の普及啓発など（885千円） ③東部防災拠点整備基本計画等の検討など（13,794千円） ④自治会館等自主避難所改修補助金を支出（10,209千円） ⑤災害時における要配慮者等個別避難計画の作成など（3,528千円） ⑥防災フェスタ開催にかかる準備経費など（539千円）	避難情報発令時においても、実際の避難行動につながらない現状がある中、自身が住むエリアに避難可能な施設の整備・検討段階から地域住民が関わることで、自主防災組織の組織化など、防災意識の底上げ（自助）と連帯意識の醸成（共助）につながった。また、今年度は要配慮者支援制度未登録の方向けの一斉調査を行うとともに個々の状況に合わせた個別避難計画の作成を進めることで、市民の安全安心の確保に寄与した。

5	地域づくり連携推進事業	子育て支援	保育所等環境充実事業	<p>【事業の目的】 保育施設でおむつ処分を行い、その処分費用および給食に係る費用の急騰分を保育施設へ補助することで、保護者負担の軽減および衛生管理の向上を図る。</p> <p>【事業の内容】 ①おむつ処分費等補助事業 おむつ等処分費用について補助を行う。 ②給食費補助事業 エネルギー価格高騰など食材費等の急騰があっても、直ちに保護者負担金等に転嫁することなく、給食内容を維持・向上させることを目的に補助を行う。 ③認可外保育施設利用助成事業 認可外保育施設を利用しやすくするため保護者に対し助成を行う。また、施設の質の向上を目的とし、認可外保育施設に対しての補助を行う。</p>	27,590	13,000	<p>①②③の事業を実施。</p> <p>①500円×乳児746人×12カ月＝4,476千円 ②500円×幼児840人×12カ月＝5,040千円 ③認可外保育施設運営補助分 15,214千円 認可外保育施設利用助成 2,860千円</p>	<p>公立保育所においては平成31年度より、おむつ処分および主食提供を開始し好評であった。民間保育所等でも同様に取り組んでいたが、取り扱いに差があったため、補助金を交付することで、公立保育所と同等以上の保育環境を提供できた。また、保護者の負担軽減だけでなく、保育施設でおむつ等処分を行うことで衛生環境の向上と保育士の負担軽減、さらに食材費が急騰する中でも給食内容を維持でき、子どもの健やかな成長に寄与した。認可外保育施設利用者への助成は、保護者の経済的負担を軽減し、安心して産み育てられる環境づくりの一助となった。</p>
6	地域づくり連携推進事業	交流と連携	阪急長岡天神駅西街区市街地整備促進支援事業	<p>【事業の目的】 交通結節機能の強化を図るため、阪急長岡天神駅の西側に交通特性に応じた駅前広場を整備し、公共交通への利用転換を図る。</p> <p>【事業の内容】 本市の「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」で示す土地利用の実現に向け、地権者の意向を踏まえた土地区画整理や市街地再開発による面的な整備計画の検討を行う。</p>	14,410	7,000	<p>以下の実施内容にて、阪急長岡天神駅西街区市街地整備促進支援事業業務委託料として14,410千円を支出。 ①地権者検討会・役員会運営支援、権利者説明会の開催支援 （定例会5回/年 説明会4回/年（役員向け、全地権者向け）を想定） ②「西地区整備計画（素案）」策定 ③権利者の個別意向調査※対象権利者約70名</p>	<p>長年の懸念事項である阪急長岡天神駅前の交通面・安全面の課題解決のため、平成31年3月に策定した「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」で示す駅周辺まちづくりの実現に向け、土地区画整理事業等の面的な整備による計画検討を行えた。地権者検討会で「西地区整備計画（素案）」を策定し、この素案をもとに個別意向調査を行い、全地権者の約8割にあたる52名の方のご意見を伺うことができた。いただいた意見等をもとに次年度には「西地区整備計画（案）」の検討に着手していく。</p>
7	地域づくり連携推進事業	子育て支援	学校給食を通じた食育推進事業	<p>【事業の目的】 学校給食を通じた食育の充実と子育て世帯の保護者負担軽減</p> <p>【事業の内容】 市内全小・中学校で学校給食を実施し、栄養士の配置によるきめ細やかな現場管理と地元農産物の利用などを通じて、より一層の食育の推進を図る。</p>	276,446	7,821	<p>以下の実施内容にて、市内公立小中学校（小学校10校、中学校4校）の給食調理業務の委託料として276,446千円を支出。 ・全14校に栄養士を配置することで、献立内容の充実、アレルギー17品目対応。 ・調理くずをまとめてリサイクルし、肥料として学校内の畑で利用。 ・地元農産物による地元の伝統料理の提供。</p>	<p>学校給食を実施することで、食育の充実と子育て世帯の保護者負担を軽減につながった。 また、栄養士の配置によるきめ細やかな現場管理と地元農産物の利用などを通じて、児童の心身の健康保持や食に関する興味関心の向上に寄与した。</p>
8	市町村間連携推進事業	文化振興	一過性に終わらない大河ドラマ関連事業	<p>【事業の目的】 大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした、各分野における活用施策を一過性に終わらせず展開し、市の魅力を発信することで、住民、観光客双方が満足できる持続可能な観光誘客が展開でき、入込客数・観光消費額の増加を図る。</p> <p>【事業の内容】 長岡京ガラシャ祭りは、本市の歴史文化を発信する最大のイベントであり、観光振興に貢献できるよう長岡京ガラシャ祭実行委員会に対して支援を行う。また、マスコミやインターネット等を通じて、全国に向かって、まちと祭の魅力発信を行う。</p>	14,100	5,950	<p>長岡京ガラシャ祭りは、今から440年前に長岡京市内にある勝龍寺城に嫁いできた明智光秀の娘「玉」、のちの細川ガラシャのお奥入行列を再現した市民主体で行われるお祭りである。観光振興に貢献できるよう、ガラシャ祭開催経費として、実行委員会に14,100千円を支出。 今年度は甲冑行列等バリエーション豊富なパレードを開催。また、11月2日～10日を「ガラシャウィーク」として甲冑着身体験や歴史講演会など、祭りを盛り上げるイベントを市内各所で実施。</p>	<p>令和2年に放送されたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした、京都府内の連携市町村が実施するイベントとの相乗効果により、長期間かつ広範囲において、市の魅力をPRすることができ、単独で実施するよりも多くの観光客に対して市の魅力を伝えることができた。</p>

9	行政サービスの	その他	税務地図情報システムクラウド化事業	<p>【事業の目的】 税務地図情報システムのクラウドサービス化により、他部署連携の簡易化、機器を保有しないことによるコストカット、人件費の削減、災害時のリスクヘッジを図る。</p> <p>【事業の内容】 固定資産の適正な課税を推進するため、課税客体の調査資料図（地番図・家屋図・路線図）の経年異動修正等を行うとともに、現行運用機器の保守期間満了に伴う機器の更新にあわせてクラウドサービス化を行う。あわせて、現地評価情報（写真等の資料）をシステム管理できるように改修し、業務データ一元管理できる仕組みを構築する。</p>	8,360	3,553	<p>システム構築により下記のとおり効率化を実現できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器設置費用の削減：約2,000千円</li> <li>・固定資産評価業務負担緩和による人件費削減：86時間/年</li> <li>・市民、事業者、他部署照会回答による時間的人件費削減：200時間/年</li> </ul>	業務データの一元管理ができる仕組みを構築したことにより市民、事業者の利便性向上（待ち時間の短縮）、市職員の業務負担軽減を図ることができた。
---	---------	-----	-------------------	---	-------	-------	--	---